

市内建設業が果たす役割に評価を

浅川 修一 (日本共産党)



問 市内の建設業者から「景気がよくなっている感じはしない」、「このままでは零細の建設業は成り立たない」との声を聞きました。いわゆる個人親方や中小の建設業も含めた産業振興は、市の施策の大きな課題だと考えるが、見解を。また、建設業の新規就業者は少なく、高齢者で支えられている厳しい状況があります。持続可能な建設業についても、こうした事業者が果たしている役割を、高く評価する必要があるのではないか。

一般質問項目

- ①まちづくりについて ②市内建設業の振興について ③平和のとりくみについて ④インフルエンザ対策について

答 産業活動については、不確実な要素を含む経済状況と言われている中、景気回復の実感を持ちにくい方々がいると推察するところです。建設業に携わっている事業者の方々については、さまざまな形で本市のまちづくりに貢献されていると認識しています。特に、市が発注する公共施設の建設や、道路、下水道等インフラ整備やその他の工事を通して、本市の施策展開において重要な存在と考えています。



自治会等を応援する条例制定記念シンポジウム



粗大ごみ処理券



遮光ネットで熱中症対策

粗大ごみ収集制度の見直しを

門倉 正子 (公明党)



問 粗大ごみ処理券の最低料金は、1~10ポイントまでが1,000円となっており、小さいもの一つでも1,000円かかります。粗大ごみ収集の基本的な制度は、約20年間変わっています。市民の生活様式や地域コミュニティは大きく変化しており、ニーズに合わせて制度も変えていくべきです。ポイントの見直しと最低料金の見直しをあわせて、市民の利便性の向上とごみ減量が両立するような制度の見直しをしていただきたいが、見解を伺います。

一般質問項目

- ①子育て支援の充実について ②清掃行政について

答 平成29年度の決算によると、粗大ごみ収集の1件当たりのコストは約2,600円です。また、粗大ごみのポイントについては、約20年間見直していないため、多摩地域の他市との格差も生じていることから、見直しを検討する時期に来ていると認識しています。今後、インターネット受付や電話受付の外部委託化を進めていきますので、その後、品目別の価格差も含め、検討していきたいと考えています。

自治会等へのさらなる応援策は

糸川 敏男 (たちかわ自民党・安進会)



問 3月の第1回定例会において、立川市自治会等を応援する条例が可決され、4月に施行されました。自治会の手助けとなる施策をさらに展開していただきたいが、これまでの反響と効果等についてお示しください。また、各自治会や地域の団体等は、ぎりぎりの予算の中での運営など、非常に努力しています。会員の減少もさることながら、役員のなり手不足も深刻です。自治会加入促進となるチラシなどを作成し、配布できなか伺います。

一般質問項目

- ①自治会応援について ②幼保無償化について ③子どもの居場所づくりについて

答 自治会等を応援する条例については、施行から約2カ月余りが経過したところです。具体的な効果はこれからと考えていますが、自治会や自治会連合会からは感謝の声をいただいている。現在、7月の条例制定記念シンポジウムに向けて、条例や自治会加入の重要性等についてのパンフレットを作成中です。今後、ホームページへの掲載や、楽市やその他のイベントなどで配布していくことを考えています。

武蔵砂川駅前広場整備について

木原 宏 (たちかわ自民党・安進会)



問 武蔵砂川駅前広場の整備が、秋に完成しますが、完成式典は行いますか。例えば花の咲くシンボル的な木を、地元からの記念として植樹するはどうかという声もあります。また、駅の南側に整備する駐輪場は、武蔵村山市民の利用も相当数あると思われますが、整備のあり方について、武蔵村山市と協議はしていますか。駅前広場の東西の横断歩道には信号機を設置しないとなっていますが、危険ではないかという指摘もあります。見解を。

一般質問項目

- ①砂川地区のまちづくりについて

答 現在、駅前広場完成式典の予定はありませんが、地元からの要望があれば検討します。仮に記念植樹ということであれば、樹木の種類や維持管理も含め、相談していきたいと考えます。駐輪場については、定期利用者の約4割が武蔵村山市民です。現在、費用負担のあり方を武蔵村山市と協議中です。横断歩道の信号機については、信号機の必要性を認識しており、交通管理者である警察に設置を要望しています。